

鈴木ひとみ市政報告



鈴木ひとみ

ごあいさつ 春休みになり、観光客がたくさん訪れています。コロナ禍のマスク制限もゆるくなり、お互いの笑顔を見せあえるのは嬉しいことです。

温暖化の影響か、桜の開花をはじめ、植物の季節が早くなってきました。海水温も上がり、館山の海で熱帯魚が冬越しするようになったようです。地球温暖化が確実に進んでいます。地球環境ために毎日の暮らしで何ができるか、改めて考えてみませんか。

令和5年3月市議会定例会 一般通告質問より

子育て当事者に寄り添った 仕組みづくり

保育園での使用済み紙おむつ 持ち帰り制度の見直しを



館山市内の公立保育園、こども園では、現在は使用済みの紙おむつを保護者が持ち帰っています。今年の1月23日、厚生労働大臣が、使用済みの紙おむつの園での処分を推奨すると発表しました。紙おむつを保護者が持ち帰ることは、不衛生なだけでなく、保護者が毎日紙おむつ1枚1枚に名前を書く、保育者がおむつ替えのたびに名前をチェックする、名前を確認して持ち帰らせるなど様々な手間がかかりま

す。園で処分することで、保護者、保育者ともに子どもと向き合える時間が増えます。

また、昨今では紙おむつが園にまとめて配達される、紙おむつのサブスクリプションを導入する自治体も増えています。子育てをしている当事者の声を聞きながら、小さなことからでも改革を進めていくことが大切です。

